

NO	公開番号	発明の名称	本学代表発明者	発明者について
1	特開2003-135061	ラビリンチュラ類を宿主とするウイルス、並びに該ウイルスによるラビリンチュラ類の増殖制御法	本多 大輔	発明者情報はこちら
2	特開2005-168359	海苔壺状菌病原菌検出・定量方法	本多 大輔	発明者情報はこちら
3	特開2007-96627	分子論理素子	杉本 直己	発明者情報はこちら
4	特開2009-096766	核酸合成を促進する化合物を含む組成物およびその利用、並びに当該化合物の製造方法	甲元 一也	発明者情報はこちら
5	WO2007/029534	金属超微粒子含有ポリアミド酸	赤松 謙祐	発明者情報はこちら
6	特開2009-240266	壺状菌を検出するための核酸、プライマー対、核酸プローブカクテル、及びそれらを用いた壺状菌の検出方法	本多 大輔	発明者情報はこちら
7	特開2011-20942	環状ビナフチル構造を有する化合物、分子接合素子、ホスト-ゲスト混合物及び超分子連鎖構造	檀上 博史	発明者情報はこちら
8	特開2010-220607	酵素活性を向上させるための組成物およびその利用	甲元 一也	発明者情報はこちら
9	WO2012/077799	高いスクワレン産生能を有する新規微生物及びこれによるスクワレンの製造方法(中国)	本多 大輔	発明者情報はこちら
10	WO2012/077799	高いスクワレン産生能を有する新規微生物及びこれによるスクワレンの製造方法(アメリカ)	本多 大輔	発明者情報はこちら
11	WO2011/037207	ストラメノパイルの形質転換方法	本多 大輔	発明者情報はこちら
12	特開2012-547928	高いスクワレン産生能を有する新規微生物及びこれによるスクワレンの製造方法	本多 大輔	発明者情報はこちら
13	WO2011/037207	ストラメノパイルの形質転換方法(中国)	本多 大輔	発明者情報はこちら
14	特開2014-109951	物体認識システム	梅谷 智弘	発明者情報はこちら
15	WO2014/010314	再利用可能な繊維を基材として用いた茸栽培方法、及びそれに使用される栽培用培地	田中 修	発明者情報はこちら
16	WO2007/142148	多孔質炭素層に内包された触媒及びその製造方法	池田 茂	発明者情報はこちら
17	WO2013/035856	加水分解酵素の反応効率を高める酵素反応方法	甲元 一也	発明者情報はこちら
18	特開2012-244916	核酸分子の安定性を制御するためのイオン液体の利用	杉本 直己	発明者情報はこちら

特許の詳細については外部サイトにてご確認ください ex) <https://patentfield.com/>